



くぬぎ台小

始業式特別号
平成24年4月 5日刊
横浜市立くぬぎ台小学校



違いがわかるかな？

校長 藤井 芳樹



くぬぎ台小学校のシンボルマークです。同じマークが2つ、と思って見ていませんか。実は違うところがいくつかあります。わかりますか？

- ① 創立年数がひとつ増えている。
※英語も入っている。
 - ② テーマの語尾が変わっている。
・「大きな樹になれ」→「大きな樹になる」
 - ③ キャッチフレーズが変わっている。
・「広げよう」→「いつまでも」
- 以上、三つの大きな変更をしました。
その思いは、

- ① 昨年度に増しての教育活動の推進
 - ② 本年度で最後のくぬぎ台小の教育活動の推進
 - ③ 来年度への準備のための教育活動の推進
- です。(同じ数字で対応しています。)

平成24年度で、私たち「くぬぎ台小」スタッフが目指したい強い思いが込められています。

特に、②の「～なれ」が「～なる」に変わっているところを大切にしていきたいと考えています。限られた時間の中で、くぬぎっ子たちに何を身につけさせればよいのか、どんな樹を目指していくのか、それらを明確にもち、本年度一年を過ごしていきたいと思ひます。

今年度は、くぬぎ台小と保護者・ご家族、地域の方々と一緒に、くぬぎっ子たちの成長を見守るけじめの年として、PTAや地域の方々のご支援とご協力をお願いする機会も多くなろうかと存じます。昨年度同様、よろしくお願い申し上げます。

平成24年度は、新一年生10名を加えたくぬぎっ子131名、教職員23名でのスタートとなりました。残念ながら、小規模校という状況はわかりませんが、「デメリットをメリットに!」「全教職員で全児童を!」を合い言葉に取り組んで参ります。

41年目のくぬぎ台小学校に乞うご期待!

題字募集中!

今年の学校だよりには深い意味があります。あなたが毛筆で書いた「くぬぎ台小」を学校だよりの題字にしてみませんか？

募集締め切りはありません。子ども・ご家族・地域のみならず、自分の思い出づくりをしてみたい方、是非、作品をお寄せください。

